



乳がん（その２） 乳がん診断のための４つの検査

乳腺外科 野村 孝

乳腺外科の外来では、乳房にしこりを感じてこられた患者さんに、４つの検査をします。すべての患者さんに４つともするわけではありませんが、この検査が乳がん診断の中心となります。これで、診断がつかない場合には、生検などさらに詳しい検査をします。

１．視・触診

乳房全体を目で見て、あるいは手で触れて乳房の形、皮膚、乳頭などに異常がないか、またしこりができていないかを確認めます。専門医がしこりの状態を触診することによって、「乳がんかどうか」はある程度わかります。

２．マンモグラフィ

触診では見つからないような、ごく小さなしこりや、悪性の可能性が高い微細な石灰化を発見するのに有効な検査です。乳房を圧迫しながら特殊なレントゲン装置で撮影します。

放射能による影響はごくわずかですので心配はありませんが、**妊娠している人は受けられません**。可能性のある方は、あらかじめ申し出て下さい。

３．超音波検査

超音波を乳房に当てて、その反射波でしこりの存在と内部の様子を確認します。放射線ではないので、被爆の心配なしに、繰り返し検査することができます。最新の装置は精度が向上したため、小さなしこりがよく見つかります。しこりの性質（水分か固形腫瘍かの区別、良性のものか悪性のものかなど）もある程度はわかります。でも、微細な石灰化については見えないこともありますので、マンモグラフィと組み合わせて行います。

４．細胞診

視・触診、マンモグラフィ、超音波検査でがんが疑われたり、がんとの区別が必要な場合には、しこりに細い注射針を刺して細胞を吸引して調べる細胞診を行います。直接あるいは超音波をみながら穿刺を行います。

<人間ドッグについて> 当院で乳がん検査が受けれます。

●実施日

・毎週水曜日（祝祭日を除く）

●定員

・６名(男女問わず)

●費用

・一般 ３５，０００円

オプション 乳がん検査 ３，０００円

子宮がん検査 ２，０００円

* 八尾市国民健康保険にご加入されている方については、一部費用の助成制度がございます。但し、満３０歳以上等の要件がありますので、詳細は八尾市役所保険年金課までお問い合わせ下さい。